



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,340	△3.9	333	△17.1	397	△12.9	275	△55.9
2022年3月期第2四半期	17,005	16.6	402	—	455	—	623	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 268百万円 (△54.8%) 2022年3月期第2四半期 593百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	188.35	—
2022年3月期第2四半期	420.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,430	12,813	46.4
2022年3月期	28,537	12,701	44.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,716百万円 2022年3月期 12,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	△3.7	1,350	0.8	1,460	0.6	1,000	2.8	679.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,645,360株	2022年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	192,937株	2022年3月期	173,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,461,832株	2022年3月期2Q	1,484,468株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の再拡大による感染者数増加の影響を受けながらも、感染症対策と社会経済活動を両立させる政府方針のもと、徐々に経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化および急速に進行した円安により資源・原材料価格の高騰が消費財全般に影響を与えており、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業およびブライダル事業において増収増益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。

#### (カー用品事業)

2022年5月に続き9月にもタイヤの値上げがあり、値上げ前の営業活動による需要取り込みがあったのちもタイヤ販売は堅調に推移しました。また、収益性の高いピットサービス部門が堅調であり、車の出張買取等の施策を強化した車両販売においても順調に推移した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (ブライダル事業)

感染症の影響が落ち着いているなか、キャンセル・延期の減少や列席者数の回復を受け、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めておりますが、前第2四半期連結累計期間において複数の不動産物件を売却したことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

#### (その他の事業)

コメダ事業については引き続き感染防止対策を徹底した店舗運営を行いました。また、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (総括)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,340百万円（前年同期比3.9%減）となり、営業利益につきましては333百万円（前年同期比17.1%減）、経常利益につきましては397百万円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、275百万円の利益（前年同期比55.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は27,430百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,106百万円減少しました。

##### a. 流動資産

流動資産残高は、10,251百万円（前連結会計年度末比794百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金の減少（631百万円減）であります。

##### b. 固定資産

固定資産残高は、17,179百万円（前連結会計年度末比312百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（178百万円減）であります。

##### c. 流動負債

流動負債残高は、9,274百万円（前連結会計年度末比800百万円減）となりました。主な減少要因は、買掛金の減少（217百万円減）であります。

##### d. 固定負債

固定負債残高は、5,343百万円（前連結会計年度末比418百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（360百万円減）であります。

##### e. 純資産

純資産残高は、12,813百万円（前連結会計年度末比112百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（187百万円増）であります。

自己資本比率は、46.4%となり前連結会計年度末比2.3ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は1,499百万円となり、前連結会計年度末と比べ631百万円減少しました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益の計上(393百万円)などにより、437百万円の収入(前年同四半期は873百万円の収入)となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、資産除去債務の履行による支出(245百万円)などにより、380百万円の支出(前年同四半期は443百万円の支出)となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出(416百万円)などにより、688百万円の支出(前年同四半期は536百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の発表から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,130,979	1,499,909
売掛金	1,582,088	1,522,171
棚卸資産	6,305,296	6,390,319
その他	1,027,877	839,479
流動資産合計	11,046,241	10,251,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,090,217	4,911,423
土地	6,862,838	6,862,838
リース資産(純額)	37,854	27,899
建設仮勘定	3,761	7,579
その他(純額)	499,624	551,613
有形固定資産合計	12,494,297	12,361,354
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	44,282	69,074
無形固定資産合計	53,314	78,107
投資その他の資産		
投資有価証券	88,826	102,476
長期貸付金	19,440	19,190
長期前払費用	116,606	113,607
差入保証金	2,977,146	2,818,385
繰延税金資産	1,675,169	1,619,630
その他	87,359	87,392
貸倒引当金	△20,718	△21,103
投資その他の資産合計	4,943,829	4,739,579
固定資産合計	17,491,441	17,179,040
資産合計	28,537,683	27,430,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,207,716	1,990,463
短期借入金	4,653,076	4,496,583
リース債務	26,435	24,583
未払法人税等	132,258	176,099
未払消費税等	277,971	144,358
未成工事受入金	1,770	35,285
賞与引当金	440,201	455,652
その他	2,335,505	1,950,999
流動負債合計	10,074,934	9,274,023
固定負債		
長期借入金	2,988,096	2,628,051
リース債務	28,242	14,615
長期預り保証金	615,113	609,633
退職給付に係る負債	591,126	609,280
役員退職慰労引当金	446,004	452,504
資産除去債務	991,984	997,179
繰延税金負債	100,327	32,038
その他	625	—
固定負債合計	5,761,518	5,343,303
負債合計	15,836,452	14,617,327
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,066,453	10,253,478
自己株式	△599,413	△666,838
株主資本合計	12,605,930	12,725,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,593	17,169
退職給付に係る調整累計額	△27,984	△26,421
その他の包括利益累計額合計	△13,390	△9,252
非支配株主持分	108,691	97,314
純資産合計	12,701,231	12,813,593
負債純資産合計	28,537,683	27,430,920

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	17,005,355	16,340,528
売上原価	9,440,953	8,983,137
売上総利益	7,564,401	7,357,390
販売費及び一般管理費	7,162,218	7,023,857
営業利益	402,183	333,533
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,705	7,514
受取手数料	38,331	46,253
受取家賃	5,597	7,665
その他	30,805	32,907
営業外収益合計	83,440	94,341
営業外費用		
支払利息	20,321	17,010
その他	9,408	13,832
営業外費用合計	29,729	30,843
経常利益	455,894	397,032
特別利益		
固定資産売却益	1,154	5,793
助成金収入	25,256	210
役員退職慰労引当金戻入額	190,000	—
その他	14,195	—
特別利益合計	230,605	6,003
特別損失		
店舗閉鎖損失	42,854	6,625
固定資産除却損	3,805	1,028
和解金	17,280	—
その他	1,428	1,401
特別損失合計	65,368	9,056
税金等調整前四半期純利益	621,132	393,979
法人税等	28,430	130,015
四半期純利益	592,701	263,964
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,023	△11,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	623,724	275,341

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	592,701	263,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△590	2,575
退職給付に係る調整額	1,562	1,562
その他の包括利益合計	972	4,138
四半期包括利益	593,673	268,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624,697	279,479
非支配株主に係る四半期包括利益	△31,023	△11,376

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	621,132	393,979
減価償却費	356,112	354,608
役員退職慰労引当金戻入額	△190,000	—
助成金収入	△25,256	△210
店舗閉鎖損失	42,854	6,625
和解金	17,280	—
引当金の増減額 (△は減少)	△18,653	42,741
受取利息及び受取配当金	△8,705	△7,514
支払利息	20,321	17,010
固定資産売却損益 (△は益)	△1,154	△5,793
固定資産除却損	3,805	1,028
売上債権の増減額 (△は増加)	194,023	59,917
棚卸資産の増減額 (△は増加)	847,262	△85,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	137,204	△217,252
その他	△647,638	△217,827
小計	1,348,587	342,290
利息及び配当金の受取額	2,897	2,037
利息の支払額	△20,515	△16,914
助成金の受取額	14,953	210
法人税等の支払額	△524,869	△105,135
法人税等の還付額	52,365	215,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	873,418	437,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△326,058	△224,954
有形固定資産の売却による収入	1,154	5,794
無形固定資産の取得による支出	△14,119	△30,647
資産除去債務の履行による支出	△170,000	△245,600
投資有価証券の取得による支出	△87	△10,090
投資有価証券の売却による収入	—	150
貸付金の回収による収入	300	250
長期前払費用の取得による支出	△1,000	△5,005
差入保証金の差入による支出	△9,399	△305
差入保証金の回収による収入	8,512	130,373
保険積立金の払戻による収入	—	810
その他	67,643	△844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443,055	△380,068
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,315,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△644,538	△416,538
配当金の支払額	△89,166	△88,911
その他	△44,946	△83,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	536,348	△688,724
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	966,711	△631,070
現金及び現金同等物の期首残高	1,329,782	2,130,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,296,494	1,499,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,762,139	1,845,680	2,255,754	16,863,574	141,780	17,005,355	—	17,005,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	50	120,058	121,368	694,410	815,778	△815,778	—
計	12,763,399	1,845,730	2,375,813	16,984,942	836,190	17,821,133	△815,778	17,005,355
セグメント利益又は損 失(△)	37,231	△304,828	629,379	361,782	39,003	400,785	1,397	402,183

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,633,645	1,923,097	617,836	16,174,579	165,948	16,340,528	—	16,340,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	895	134,010	136,165	698,184	834,349	△834,349	—
計	13,634,905	1,923,992	751,846	16,310,745	864,132	17,174,878	△834,349	16,340,528
セグメント利益	203,226	52,657	13,661	269,545	63,227	332,773	760	333,533

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。